

事業名称	寺社と共働した「地域のタカラ」発見・活用・発信事業		
実行委員会	旧宮城郡地域文化財活用実行委員会		
中核館	東北歴史博物館		
	住所	〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1	
	TEL	022-368-0101	FAX 022-368-0103
	ホームページ	http://www.thm.pref.miyagi.jp/	
構成団体	鹽竈神社博物館・瑞巖寺宝物館・東園寺・満勝寺		
事業開始時点の課題分析	<p>古代中世の陸奥国および近世以降の仙台藩・宮城県において、一貫して政治・経済・文化の中心地であり続けた旧宮城郡地域には、その歴史に裏付けされるように多くの文化財が存在する。また、長い歴史を持った神社・寺院が多く、そこには今まで調査・活用されていない文化財も多数存在するものと思われる。このように当該地域には、既に知られているもの・未発見のものも含めて文化財が数多く存在しているものと思われるが、それを総合的に把握しようとする動きは今まで無かった。そのため、身近にありながら貴重な文化財であっても、その内容や歴史的価値があまり知られていないものも多く、活用される機会も極限られている。地域の人々にとっては、地域の文化財が自分たちの「地域のタカラ」という意識は低く、地域ぐるみでそれを活用し、地域の魅力として広く発信していこうという気運は高まっていない。</p> <p>そのため、有力な観光資源となりうる地域の文化財の存在が他地域の人々にも認知されず、地域の魅力が理解されていない。また、当該地域にはいくつかの観光スポットが存在するが、実際に他の地域から訪れた人々は、単に「名所」というだけの理解にしかならず、文化財の真の価値や歴史的な背景の奥深さなどが理解されていない状況である。</p>		
事業目的	<p>旧宮城郡地域に存在する貴重な文化財が、地域の人々に「地域のタカラ」として認識され、地域ぐるみで活用し、観光資源として発信していこうという気運を高めていく。そして、他の地域の人々に、当該地域の文化財の真の価値や歴史的な背景の奥深さなどを理解してもらい、この地域の特色ある魅力として広く発信していく。</p>		
事業概要	<p>旧宮城郡地域に存在する文化財の総合把握を目指して各地区で調査を行う。また、実行委員会を構成している各寺社は、各地域における文化財の拠点であり、その所蔵品のみならず、その地域や関係社寺に存在する他の文化財の情報が集まりやすい環境にあるため、その情報を共有し、調査対象を広げて今まで知られていなかった新たな文化財の掘り起こしを行う。そして、地域の人々へ訴求力のある寺社からの情報発信を行い、当該地域に存在する文化財が地域の人々に「地域のタカラ」として認識され、将来的に地域の人々が自ら活用・保存できるよう、普及活動を行う。</p>		

<p>区分</p>	<p>(1) 地域の歴史, 地域の有形無形の文化財との連携, 地域の人材交流</p> <p><input type="checkbox"/>ア 地域の文化財の魅力発信</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>イ 地域の文化財を活用した多様な活動の充実</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 美術館・博物館の情報発信機能の強化</p> <p><input type="checkbox"/>エ 専門人材の育成・確保</p> <p>(2) 地域の文化施設等との連携</p> <p><input type="checkbox"/>ア 地域の文化施設との連携による面的・一体的な企画の実施</p> <p><input type="checkbox"/>イ 美術館・歴史博物館クラスター（集積地）としての広報活動</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>1. 旧宮城郡地域に所在する文化財の把握</p> <p>(1) 地域文化財に関する情報収集</p> <p>(2) 地域文化財の把握のための調査</p> <p>2. 地域の文化財に関わる教育普及</p> <p>(1) 「地域のタカラ」講座の実施</p> <p>(2) 資料集の作成</p> <p>3. 地域の文化財を活用した地域の魅力発信</p> <p>(1) 学芸員と巡る寺社ツアーの実施</p> <p>(2) 学芸員と巡る街歩きの実施</p>
<p>実施後の 成果・効果等</p>	<p>旧宮城郡地域に存在する文化財の総合把握には数カ年を要するものと思われるが、今年度は想定以上の文化財の詳細調査および写真撮影を実施することができ、当該年度の普及活動に資することができるのと同時に、次年度以降の活用・発信事業にも資する準備ができた。また、講座などの普及活動についても、寺社と共働し、寺社から呼びかけを行ったことにより、予想を上回る参加者があり、地域の人々の地域の文化財に対する興味関心の高さが感じられた。寺社の持つ地域の人々への訴求力は予想以上であり、非常に効果的であったと考えられる。それによって、参加者に普段は気づきにくい地域の歴史や文化財の価値を知り、自分たちの地域のもつ特色や魅力を発見することができた。そして、地域の文化財は自分たちの「地域のタカラ」であるという意識をさらに高めることができたと考えられる。また、普及活動とともに資料集を刊行し、今まで知られていなかった地域の文化財を紹介したことによって、地域の歴史や魅力を内外に発信することができた。このことは、将来的に地域の人々が文化財を活用して地域の歴史や魅力を外部へ発信し、当該地域への来訪者の増加など観光の振興へつながることを目指しているが、今年度はその確かな素地を形作ることができたものと考えられる。</p>

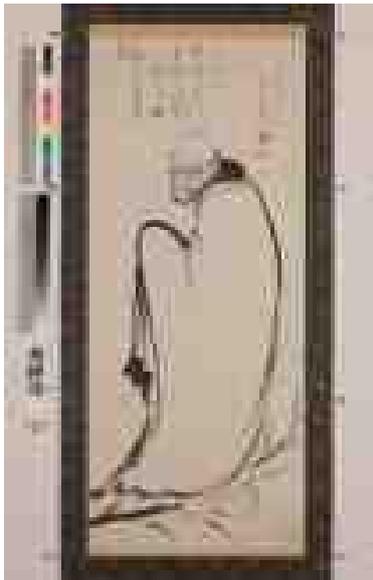
【事業実績】



絵画類（屏風）の調査



古文書類の調査とデータ整理



墨蹟類の調査・撮影



資料集の編集と刊行



「地域のタカラ」講座風景 1



「地域のタカラ」講座風景 2